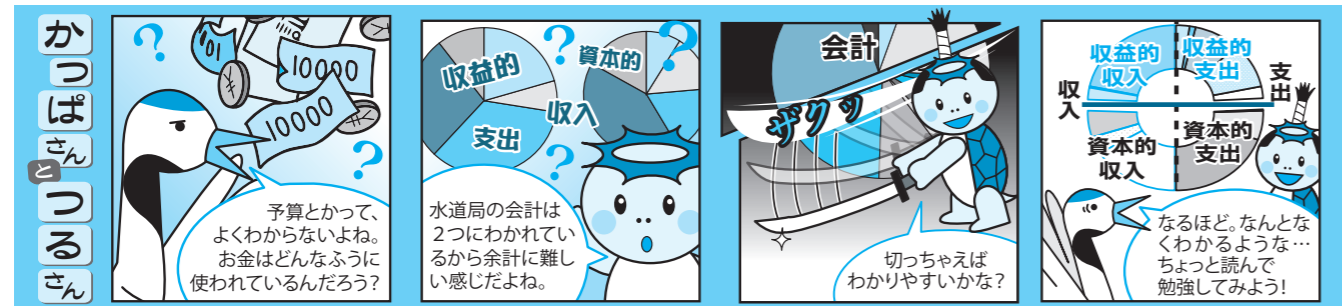


# 令和3年度 予算のあらまし

皆さまから  
いただく大切な  
水道料金は  
次のように使います。



給水人口の減少や節水意識の定着などにより、水道料金収入は毎年減少傾向にあります。令和3年度も一層の経費削減に努め、老朽化した水道施設の更新や災害対策等を実施するため、予算を編成しました。



水道事業は「公営企業会計」を採用しているため、市役所の「一般会計」とは異なり、経営成績と財政状態を正確に把握するため、「収益的収支」と「資本的収支」の2つからなっています。収入と支出が双方にあるため、簡略化して説明します。

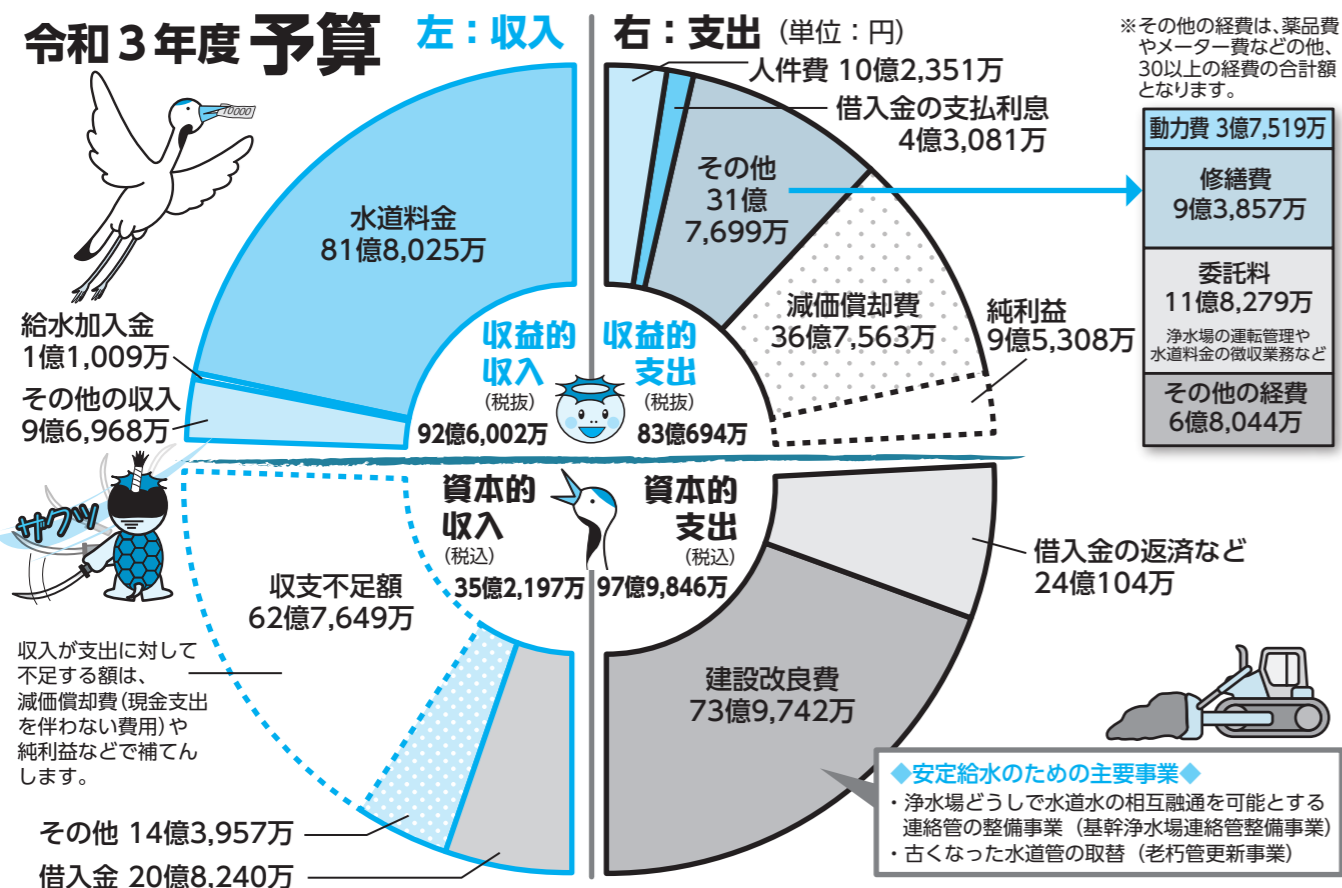
## 収益的収支

皆さまからいただく1年間の水道料金など（収入）と水道水をつくり送り届けるために必要となる人件費や委託料などの費用（支出）

## 資本的収支

老朽管の更新や水道施設（浄水場や水道管など）の災害対策等の工事費用（支出）とそれらをまかなう資金（収入）

- 図ではかっぱさんが収益的収支、つるさんが資本的収支の関係にあります。
- 水道局の全体的な予算の収支関係は、左が収入、右が支出となります。



お問い合わせ 経営戦略課 財務係 TEL 22-9313

収益的収支では利益が出ているけど、どうしてお金を借りているの？

**Point**

〈お金を借りている理由〉

- ・多額な建設費用のすべてを水道料金でまかなおうとすると、非常に高額な料金になってしまうため
- ・水道施設は、長期に渡って使用されるものなので、次世代の方にも建設費用の一部を等しく負担していただくため

水道施設（浄水場や水道管など）は、水道を使用する皆さまの共通の財産です。施設の建設（改良を含む）にかかる費用については、応分の負担をしていただくこととなります。建設費用の財源の一部に借入金を充てることにより、返済期間を通して次世代の方にもその費用を負担していただくことで、世代間の負担の公平性を確保しています。もちろん、次世代の方に多額な借金を残すことは許されませんので、借入金を抑制しながら借入金残高の計画的な縮減を図るなど、適正な水道事業の運営に努めています。

お問い合わせ 経営戦略課 財務係 TEL 22-9313

シリーズ新連載 “水かんきょう” 第1回

家族で読んでね!

水管橋(すいかんきょう)

合計 約13.86億km<sup>3</sup> 地球上の水の量

2.53% 淡水  
貴重な淡水のほとんどは、南極・北極の水や、地中深くの地下水です。このため、私たちが利用しやすい状態で存在する水（河川や湖沼等）に限ると、その量はごくわずかしかありません。

97.47% 海水  
地球上にある水のほとんどは、海水です。

お問い合わせ 総務課 広報情報係 TEL 22-9314